

## 神奈川県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和4年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	三浦市	2,175,960	EPN 2,016,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 65,280	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 28,400
2	川崎市川 崎区	2,027,646	バナジウム化合物 914,400	ニッケル化合物 585,000	亜鉛の水溶性化合物 284,866
3	横浜市金 沢区	1,768,270	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 1,700,000	亜鉛の水溶性化合物 62,700	マンガン及びその化合物 5,520
4	横浜市泉 区	1,045,530	EPN 984,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 34,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 7,100
5	横浜市中 区	926,734	EPN 840,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 30,600	亜鉛の水溶性化合物 29,964
6	高座郡寒 川町	415,732	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 391,000	ニッケル化合物 21,500	コバルト及びその化合物 1,476
7	茅ヶ崎市	352,380	亜鉛の水溶性化合物 227,700	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 110,500	ふっ化水素及びその水溶性塩 7,280
8	南足柄市	289,939	EPN 288,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 1,020	亜鉛の水溶性化合物 264